

トモエガモ（カモ科） 全長40センチ

前回紹介したオナガガモの群れに混じって、トモエガモが見つかりました。数は少ないので、たまに発見すると歓声上がるほどである。

何といってもオスの複雑な模様がとても特徴的です。歌舞伎役者の隈取にも似ているが、この模様を巴形に似ていることから付いた名前と言われる。



名前の由来は、顔の模様が巴形に似ていることから付いたとされる。

千羽以上のオナガガモの群れに紛れ込んでいるので、見つけるのも大変。望遠レンズで捕えても、見失ってしまうこともしばしばである。

10数羽を数えたトモエガモは、お互いあまり離れずにいることから、慣れてくると撮影も順調に進んだ。オスはすぐわかって、メスは地味でなかなか判別が付きません。



オナガガモの群れの中に混じっていた。



大きく羽を開いてくれた。

なんとか撮影できないかと、翌日も雄物川の同じ場所に出掛けたことにした。

すると、トモエガモとオナガガモはまだ飛び立たずに滞在中でした。今度はメスもバッチリ撮影できたので、早めに切り上げて帰宅することに。



4羽のオス。



オスメス2つがいが並んでくれた。メスは地味で、オナガガモのメスと似ています。